

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

第141回アンケート 冬のくらしと準備

アンケート実施期間 2012年11月13日～12月10日

モニター総数 385名 (男性81名 女性304名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

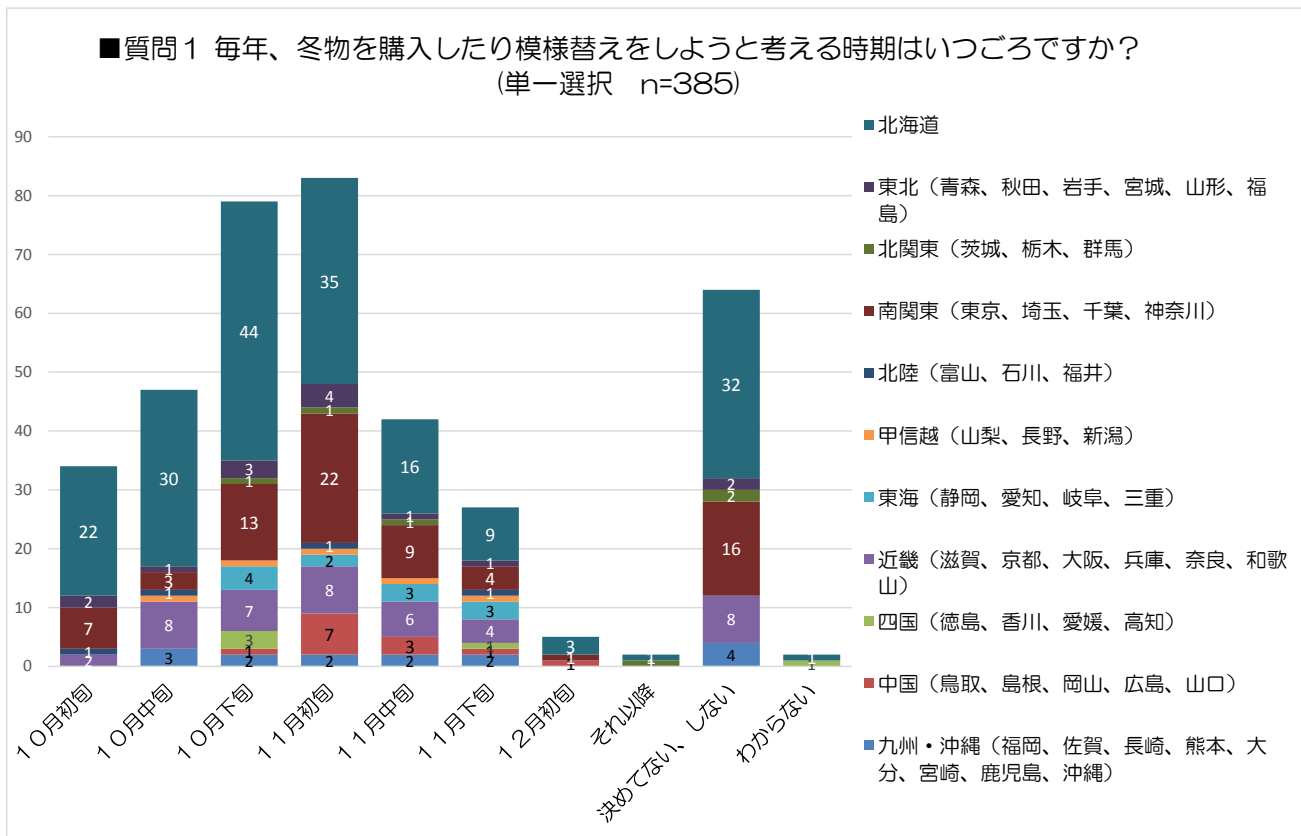
●アンケートまとめ

- 冬物を購入したり、模様替えをしようとする時期は11月初旬、次に10月下旬
- 例年、暖房器具を使い始める時期は北海道は10月下旬がピーク、本州では11月初旬から中旬がピークに
- 特に意識をして、お鍋や温かいものを食べる時期は10月下旬がピーク、本州では11月初旬から中旬がピークに
- 冬の暮らしの準備には「冬物に衣料の切り替え」「防寒の用意」「毛布・こたつなどの用意」
- 冬の生活で気を付けている事は「風邪予防など健康に関して」の意見が多くを占めていました。

アンケート項目

登録モニターの皆さんに、2012年の冬に向けての準備と冬の暮らしに関してお聞きました。

- ①毎年、冬物を購入したり模様替えをしようとする時期はいつごろですか？
- ②例年に暖房器具を使い始める時期はいつごろですか？
- ③食生活で特に意識をして、お鍋や温かいものを食べると思う時期はいつごろ？
- ④冬の暮らしの準備にはどのようなことをされますか？
- ⑤冬の生活で、特に気を付けていることはありますか。(自由回答)



全国のくらしくモニターさんを、地域別に分けて、表示しています。

※地域によって登録数が違うため、全体数と、地域ごとの数の変化のみ参考にしてください。

冬物を購入したり、模様替えをしようとする時期に関しては、全体で多かったのは11月初旬、次に10月下旬となっています。

地域別では、北海道では10月初旬には、冬の暮らしを考え始める方が増え、10月下旬にはピークになります。

南関東では、11月初旬がピークに。近畿地方も11月初旬となっています。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

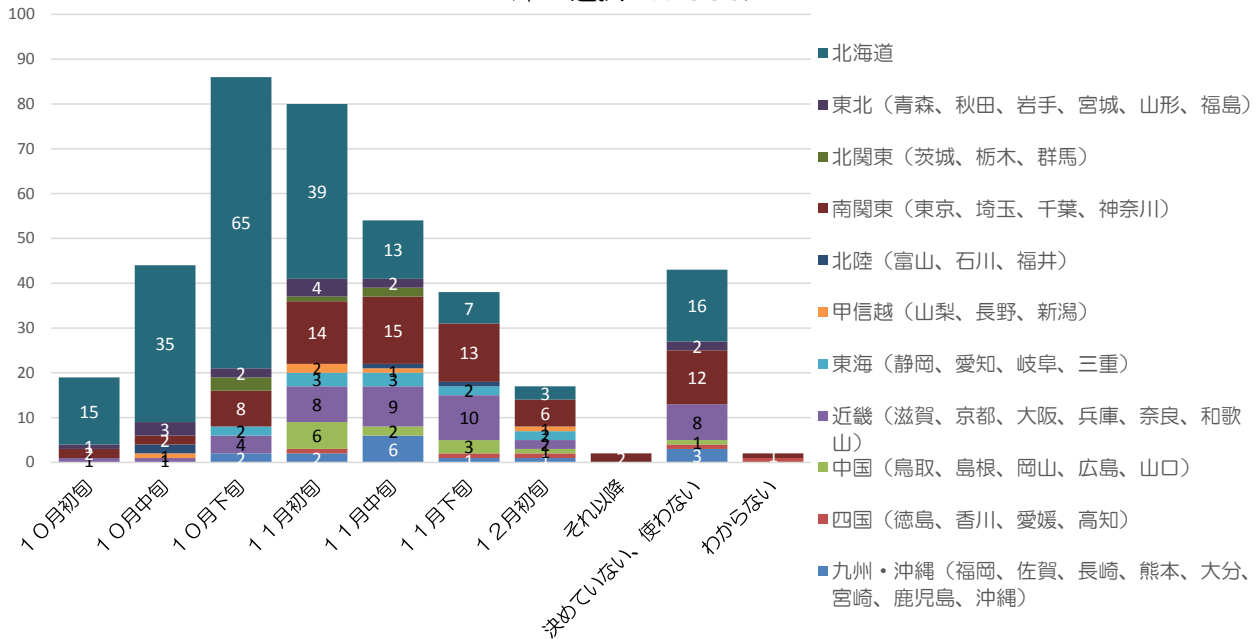
第141回アンケート 冬のくらしと準備

アンケート実施期間 2012年11月13日～12月10日

モニター総数 385名 (男性81名 女性304名)

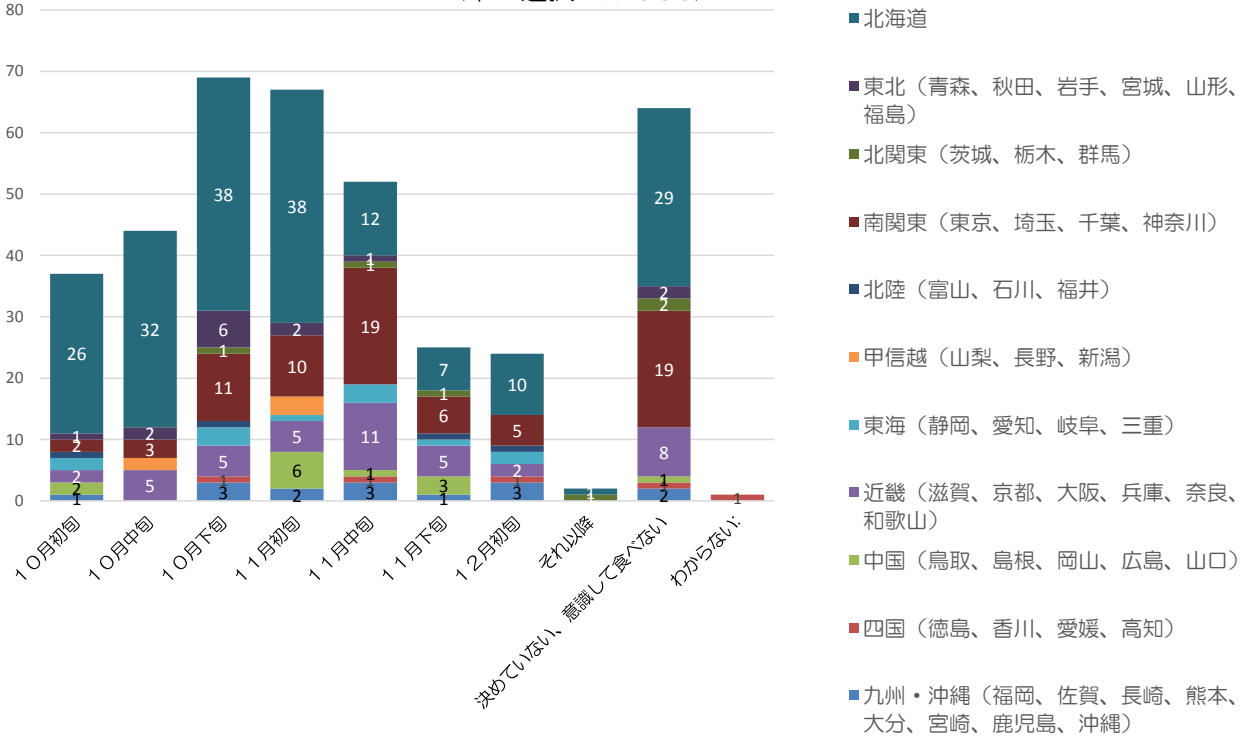
調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

■質問2 例年に暖房器具を使い始める時期はいつごろですか？
(単一選択 n=385)



例年、暖房器具を使い始める時期に関しては地域差が出ました。
北海道地域では10月初旬から暖房器具を使い始め、10月下旬にはピークになります。
南関東地域では、10月下旬に暖房器具を使い始め、11月中旬にピークに。近畿地域でも11月初旬から11月下旬に暖房器具が利用され始めます。北海道は10月下旬がピーク、本州では11月初旬から中旬がピークになります。

■質問3 食生活で特に意識をして、お鍋や温かいものを食べると思う時期はいつごろ？
(単一選択 n=385)



お鍋や、暖かい物(ホットメニュー)を意識して食べる時期に関しては、北海道では10月初旬には多くの方が意識して食べており、10月初旬にピークになります。関東地域では、10月下旬から意識し始め、11月中旬にピークになります。近畿地域でも11月中旬がピークになります。

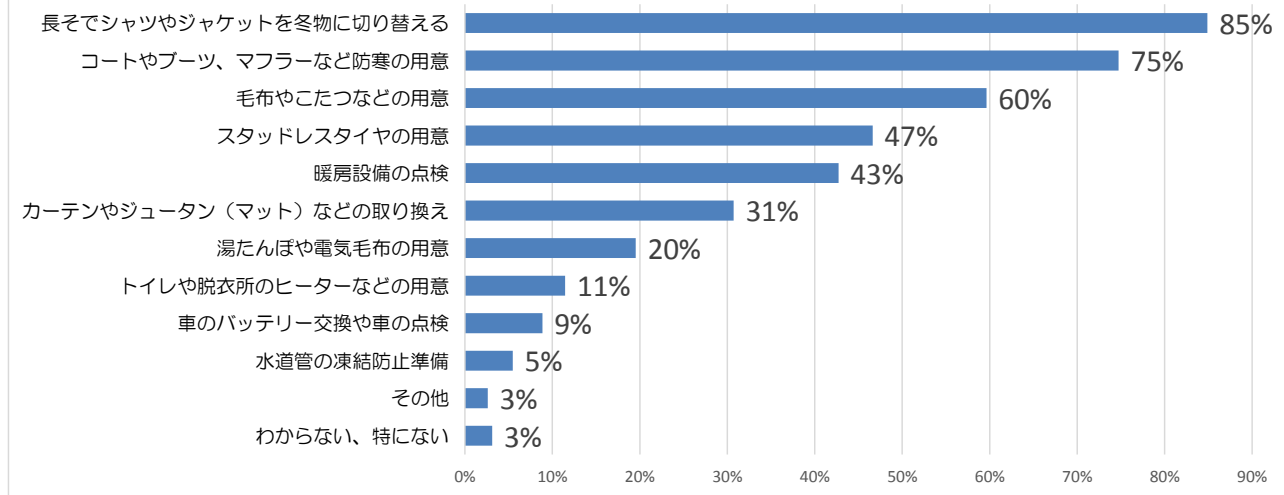
北海道の暮らしアンケート 暮らしく アンケートレポート

第141回アンケート 冬の暮らしと準備

アンケート実施期間 2012年11月13日～12月10日

モニター総数 385名 (男性81名 女性304名)

調査方法 全国の暮らしく登録モニターへインターネットアンケート

■質問4 冬の暮らしの準備にはどのようなことをされますか？
(複数選択 n=385)

■質問4 冬の暮らし準備にはどのようなことをされますか？(自由回答 一部抜粋)

- ・屋根のダクト確認(40代:女性)
- ・加湿器を出します。(30代:女性)
- ・靴下や下着を冬用に切り替える。シーツや枕カバーを冬用に切り替える。(40代:女性)
- ・結露吸水テープを窓に貼る。加湿・空気清浄機をまめに使い始める。(30代:女性)
- ・シーツを冬用にしたり、気温の差が激しい時は、近くの温泉で温めます。朝起きてすぐに、靴下をはく。(30代:女性)
- ・布団を変える(50代:女性)
- ・布団乾燥機を冬用に設定(20代:女性)
- ・風呂場の浴室の暖房やトイレの暖房を点検します。(70歳以上:男性)
- ・便座の暖房を入れる。窓に結露を吸うテープを張る。外に出してる植木を家に入れる。(40代:女性)
- ・除雪機の整備。(50代:男性)
- ・除雪道具の用意、庭木の雪囲い、家の換気孔を閉める、スキー道具の点検、冬靴(40代:女性)

冬の暮らしの準備にはどのようなことをするかというアンケートでは

- 1位 冬物に衣料の切り替え(85%)
- 2位 防寒の用意(75%)
- 3位 毛布・こたつなどの用意(60%)
- 4位 スタッドレスタイヤの用意(47%)
- 5位 暖房設備の点検(42%)

となっています。衣替え、防寒などに関して多くの回答がありました。

自由回答に関しては、屋内での暮らし準備、除雪などの意見がありました。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

第141回アンケート 冬のくらしと準備

アンケート実施期間 2012年11月13日～12月10日

モニター総数 385名 (男性81名 女性304名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

■質問5 冬の生活で、特に気をつけていることはありますか。(自由回答一部抜粋)

【体調管理・風邪予防】

- ・24時間暖房をつけているので、乾燥対策、喚起対策に気をつけてます。子供に風邪をひかせないように、自分も気をつけます (30代:女性)
- ・インフルエンザ、風邪予防のために加湿器を設置する (30代:女性)
- ・インフルエンザを子供が打つ前に体調を整える。うがい手洗い。夜に洗濯を干して湿気を作って寝る。スーパーなどでマスクをして歩く。(30代:女性)
- ・インフルエンザ予防の注射は、早めに必ず打つ (20代:女性)
- ・ビタミンCの摂取・生姜を使った料理をして体を温める・スキンケアグッズを乾燥防止のものを使用する (30代:女性)
- ・乾燥で喉を炒めるので、嗽や手洗いは神経を使っています (60代:女性)
- ・首を冷やすと風邪を引くのでネックウォーマーで冷やさないようにしています。お風呂が家族のなかで一番なので、夕食を食べてかたづけをしたら急いでお風呂にはいらなければならないので、お風呂からおがたら靴下を履くようにしています。(50代:女性)
- ・布製マスクを濡らして、寝るときつけて寝ます。(風邪予防) ビタミンを取ったり、鍋など野菜沢山食べる。(30代:女性)
- ・風邪予防でまずインフルエンザの予防接種をします。湿温計で部屋の湿度を保ちます。乾燥予防の為に風呂は保湿効果の高い入浴剤を入れ、入浴後はボディローションを塗ります。(30代:女性)
- ・免疫をたかめるためにみかんを箱でかう (20代:女性)

【乾燥・お肌のケア・静電気】

- ・乾燥がひどくなるので肌のケアを忘れないようにすること。(30代:女性)
- ・乾燥しやすいので、特に水回りにはハンドクリームの用意を欠かさないようにする (40代:女性)
- ・手洗い・うがい。ハンドクリームやボディークリームなどでの保湿がさらにマメになります。ほっておいたらすぐにカサカサなので、乾燥に敏感になります。化粧水・乳液などもよりしっとりタイプに切り替えたりします。(30代:女性)
- ・肌が乾燥しやすいので、保湿に気を付けています。静電気が起きやすいので、外出する際は必ずコートに静電気防止スプレーを使います。(40代:女性)

【くらし】

- ・お風呂の後は湯冷めしないように寝る前にお風呂に入るようにしています (40代:女性)
- ・ストーブで火災がおきないように気をつけます。(30代:女性)
- ・衣類乾燥機を使っています。外の野外の駐輪場に置いている自転車を屋内に入れました。(雨や雪や強風で自転車が錆びてしまったりするので..) (20代:女性)
- ・規則正しい生活を送る (50代:女性)
- ・今年は初めて湯たんぽを購入してみました。電気毛布とは違う布団の中がほんわかと温かくなり、朝まで続くのが入っています。肌も乾燥しないように思うのでとても良いです。朝はそのお湯で食器を洗えるくらい温かいので無駄なく使用しています。(30代:女性)
- ・室温を高くしすぎない。着込む。洗濯物を夜干すようにして湿度を保つ。(30代:女性)
- ・重ね着をして暖房をなるべく使わないようにしています (50代:女性)
- ・昼間に布団を干して暖かくする (30代:女性)

【雪対策・凍結】

- ・雪で足場が悪いので靴に気をつける (40代:女性)
- ・雪道での運転 (30代:男性)
- ・雪道の運転。(30代:女性)
- ・冬は寝る時でもストーブを炊いて室内の温度が下がらないように注意しています。植え木鉢の葉ものがしぼれて死んでしまうのと、水道管の凍結があるので家は絶対に留守にしないようにしてます。(60代:女性)
- ・冬靴の底の減りを確認します (40代:男性)
- ・冬道の運転 (20代:女性)

【結露防止】

- ・結露や部屋の節約暖房に断熱シートを張ったり、ラグの下に見えないようにしいたりする (30代:女性)
- ・結露がすごいので、寝るときに台所の換気扇を回すようにしています。寝るときだけなのは、寒いからです。(30代:女性)
- ・結露対策。去年までは換気扇をつけっぱなしにしていたが、今年は節電を意識して結露取りワイパーという商品を購入。体を温める食材を積極的に摂る(根菜や生姜など) (30代:女性)

【湿気対策】

- ・押入れの湿気対策 (30代:女性)

【節約・節電】

- ・節電、灯油の節約 (40代:女性)
- ・暖房の温度を上げ過ぎない。(30代:男性)
- ・冬は電気代がかかるため暖房器具にたよりっぱなしではなく、厚着するように気をつけている (20代:女性)
- ・灯油ストーブの使用を待っています。ストーブの上で焼き芋や落花生を焼きたいのです。これらは皆家庭菜園でとれた物たちです。暖房だけでなくおまけの熱量がうれしいです。(60代:女性)

たくさんのご意見ありがとうございました。

ご意見をテーマごとに分けて書いています。多くあった意見は、「乾燥対策」「風邪予防」「結露防止」が多くありました。

自由意見では、節約や暮らしの意見より、風邪予防など健康に関しての冬の暮らしに関する意見が多くを占めていました。